

# p i e c e s

## Seiya Kaji

at **TRUNK** (HOTEL)

2023/08/04 ~

### ●profile

加治 聖哉 (カジセイヤ)

1996 年生。新潟県村上市出身。公立大学法人長岡造形大学美術工芸学科 卒業。

大学在学中より活動を始め、日本各地で作品を展示。

卒業後、村上隆率いる「カイカイキキ」を経て、

廃材を用いた原寸大の動物を創るアーティストとして

新潟県長岡市栃尾を拠点に活動中。

Born in 1996 in Murakami City, Niigata Prefecture. Graduated from Nagaoka University of Art and Design with a degree in Fine Arts and Crafts. Started exhibiting works across Japan during university.

After graduation, became an artist based in Tochio, Nagaoka City, creating life-size animals using recycled materials. He was also part of the art collective called "Kaikai Kiki" led by Takashi Murakami.

●caption

進化ってなんだろう？

種類ごと 環境ごとに変化する木々  
一人一人の素質に目を向けて  
既にある魅力を蘇らせることのできる  
人間へ進化する

スクラップアンドビルドではない  
文化と景色の残し方だってきっと美しい  
進化の一つ

里山と同じで  
ほったらかしでは生まれない  
ちょうどいいバランスを

既にある小さな幸せ集め  
愛でられる時代へ

偶然を楽しむように  
美しい生き物の一部になった  
pieces と共に  
未来へ向かって

What does evolution truly mean? The trees evolve with each species and its surroundings, Directing attention to the potential within each person, Progressing into humans who can revive existing charm. It's not about scrapping and rebuilding, But rather, a graceful way of preserving culture and landscapes, A beautiful form of evolution. Like the rustic countryside, It doesn't come into being by neglect, But finding just the right balance. Collecting the existing little joys, Transitioning into an era of cherished love. Embracing chance with joy, Becoming a part of beautiful living creatures, Together with the pieces, heading towards the future.



p i e c e s

Seiya Kaji

at

TRUNK (HOTEL)

●photo



elephant

アフリカ象

TRUNK (HOTEL)

●photo



monkey

テナガザル

TRUNK (HOTEL)

●photo



**sardine**

イワシ (300匹)

TRUNK (HOTEL)



●photo

**varanus salvator**

ミズオオトカゲ

**woodpecker**

キツキ科 オオカゲラ



TRUNK (HOTEL)

## ●q & a

### 1.ソーシャライジング要素は？

ENVIRONMENT / 環境

役目を終えた材木やコルクが材料となっている。

TRUNK(HOTEL) から出た廃材も一部使用。

### 2.なぜこのアーティストを選定したのか？

彼のつくる作品にエネルギーと美しさを同時に感じた。

そして、前回の風が抜けるような軽やかなアートから、重量感とエネルギー溢れる作品へと変化をつけ

暑い夏の日々でも、TRUNK(HOTEL) に訪れる1つのきっかけになって欲しい。

### 3.なぜ動物が題材なのか？

全ての生き物は互いに関係し合い、地球という名のチームを構成しているのに、私たち人間が“人間界”と“それ以外”に境界線を引いた世界になってしまっていないだろうか、というアーティストの問いかけに共感し、そうした自然に目を向けながら、目の前にある一つひとつのかけらを生かし未来につなげていきたいという願いが込められている。

動物や、その群れをモチーフに作品を創り、人と比較し違いを確認していくことで、少しずつ理解を深めてほしい。

### 4.なぜ象がメインなのか？

TRUNK という単語には象の鼻という意味があり、TRUNK(HOTEL) の名前の由来の1つとなっている。

象の鼻は進化の過程でエネルギーを有効に使うために伸びたという説があるため、我々も日々進化していき、

日本のホスピタリティ業界にイノベーションを起こすことをミッションとして掲げている。

そのため、象が持つイノベティブ性とリンクする部分がありメインを象とした。

今回その象をはじめ、TRUNK(HOTEL) のためにオリジナルで制作していただいた、テナガザルやトカゲなどユニークで個性あふれるな動物たちが訪れる皆さまを魅了する。



## ●members

末松 朗 | 壺岐 ゆかり | 田中 宏枝 | 曾我 祐市 | 大蔵 智己 | Nuts | 岩男 百花 | 藤本 康太郎